

令和2年度 仙台市若林障害者福祉センター防災訓練を実施しました

令和2年7月8日

仙台市若林障害者福祉センター

去る令和2年7月1日（水）、当センターにて防災訓練を実施し、20数名が参加しました。

今回は、午後1時30分頃、地震発生に伴い2階厨房から火災が発生したことを想定して訓練を行いました。訓練地震発生と同時に、事務室全員が机の下に入り1分程度身の安全を確保しました。安全確保については、毎年シェイクアウト訓練を実施しているため、ほとんどの方が机の下に体全体を入れることができていました。

その後、2階厨房より訓練火災発生時の非常ベルが鳴動し、火災発生の確認をしたのち、屋内階段からの避難誘導の館内放送を実施し、発生現場の近くの職員により、初期消火の訓練も実施しました。

今回は、コロナウイルス感染防止（三密を避けるため）のため、実際に避難訓練は行わず、避難経路の確認のみといたしました。

最後に、水消火器を使用した訓練については、消防設備保守点検業者の方より消火器の使用法を教えて頂き、新規採用職員等数名に体験してもらいました。

今後も様々な災害を想定して訓練を行い、災害に対応できるよう体制を強化していきます



～参加者の声～

- 定期的に訓練することが大事だと思う
- 訓練開始前に、避難経路や消火器の設置場所を確認したのち実施することもよいと思う。
- 厨房から出火した場合の対処が確認できてよかった。